ハンドマイク街頭演説原稿例　学費引き下げ・子育て支援

２０１９年６月１日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間よろしくお願いします。

　いま、安倍自公政権の消費税増税に、「消費税増税するなどとんでもない」「売上げが減っている。増税など考えられない」など、怒りの声が広がっています。消費税増税など暴挙ではないでしょうか。みなさん、くらしを守るため、「１０月からの増税は中止せよ」の一点で大同団結し、参院選で「増税ストップ」の審判をくだし、消費税増税を必ず止めようではありませんか。

　みなさん、一部大企業と富裕層ばかりが肥え太り、日本経済をダメにしたのがアベノミクスではないでしょうか。いまやるべきことは、家計を応援し、希望の持てる政治に切り変えることです。日本共産党は、いま、消費税の増税は中止し、「暮らしに明日の希望を持てる―３つの提案」をよびかけています。それは、

　第一に、８時間働けばふつうに暮らせる社会をつくること。

第二に、年金、福祉・医療を充実し、暮らしをささえる社会保障を築くこと。

第三は、誰もがお金の心配なく学び、子育てができる社会をつくることです。

みなさん、この道でこそ、若者も、高齢者も、安心して、希望が持てるくらしが実現できるのではないでしょうか。

みなさん、子育てや教育の負担の減らすことは、家計を応援するとともに、貧困から子どもを守り教育の機会を保障するなど、子どもの権利を守るうえでも、差し迫った課題ではないでしょうか。

まず学費の負担軽減です。日本共産党は、すべての学生を対象に、大学・短大・専門学校の授業料を、すみやかに半分に値下げし、段階的に無償化をすすめます。安倍政権は、「大学無償化」などと言っていますが、学費値上げを抑えることもしません。そして、授業料減免の対象は、現在の大学・短大・専門学校の全学生の１割程度です。政府案の９割近い学生を対象にしない制度では、とても「大学無償化」などと言うことはできないではありませんか。「看板に偽りあり」ではないでしょうか。

また、月額３万円の無利子の給付奨学金制度をつくり、７０万人の学生が利用できるようにします。若者の人生の門出で、「奨学金」という名の多額の借金を背負わせる社会をあらためます。

こうした改革で、希望すればだれにでも大学などへの道を開くことになるのではないでしょうか。

また、私立高校の負担の軽減をすすめ、高校教育の無償化をめざします。

そして、学校給食の無償化をはじめ、義務教育で残されている負担をなくし、完全無償化をめざします。「幼児教育・保育の無償化」は消費税に頼らず、認可保育所の３０万人分増設と保育士の待遇改善で、待機児解消をめざします。

　みなさん、こうしたことが実現できれば、お金の心配なく学び、子育てができる社会になるのではないでしょうか。日本共産党は全力でがんばります。ごいっしょに力を合わせましょう。

いま、お話したのは３つの提案のひとつですが、３つの提案すべてに必要な財源は七・五兆円です。財源は消費税に頼らず、すすめることができます。

みなさん、大学時代日本共産党に入った共産党県民運動委員長の伊藤岳参院予定候補は、これまでも、いまも、多くの青年、学生の悩みや要求に向き合い、学費引き下げや返済不要の奨学金拡大など求め、現場の声を大切に、署名運動や要望活動などと頑張ってきました。若者の声に向き合い頑張る伊藤岳予定候補へのご支援をお願いします。

みなさん、日本共産党は、７月の参議院選挙では日本共産党を大きく伸ばしてください。また、は伊藤岳参院予定候補へのご支援を、よろしくお願いします。

来たる６月８日土曜日、午後２時から、大宮駅西口で、志位和夫委員長を弁士に、街頭演説を開催します。ぜひ足をお運びくださいますようお願いいたしまして、この場所で訴えを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。（了）